シンポジウムご案内

「専門知の多様性と市民の意思を組み込んだ科学技術政策の形成に向けて」
～原子力政策にダイナミクスを生み出すには～

本シンポジウムは科学技術振興機構（JST）・社会技術研究開発センター（RISTEX）の「科学技術イノベーション政策のための科学」第３期研究開発プロジェクトである「原子燃料サイクル政策の受容に対する熟議的アプローチ：感情と技術の作用機序に着目して」（令和４年度～7 年度）の成果を報告し、有識者・ご参加の方々と討論を行うものです。

高度な科学技術政策においては、しばしば意思決定が限られたアクターの間で進められやすく、多様な専門知や市民の意思を政策に十分に反映させることが難しいという構造的な課題があります。原子燃料サイクル政策は、その典型的な事例の一つです。本プロジェクトでは、政治学、心理学、行政学、原子力工学、エネルギー経済学などの多様なバックグラウンドをもつ研究者が集い、こうした困難を乗り越え、専門知の多様性と市民の意思を組み込んだ科学技術政策のあり方を模索してきました。本シンポジウムでは、その研究成果をもとに、今後の原子力政策の方向性を展望するとともに、より良い科学技術政策の形成に向けた提言を行うことを目指します。

ご多用の折とは存じますが、是非ご参加賜りたくご案内申し上げます。

1. 開催概要

1）日時

- 2025年9月16日（火）10：00～15：00（9：30 開場）

2）会場

ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター

- 住所: 東京都新宿区西新宿８-１７-1 住友不動産新宿グランドタワー5 階
- 交通アクセス：東京メトロ丸の内線 西新宿駅 １番出口徒歩４分
  都営大江戸線 都庁前駅 A5 出口徒歩８分
  JR 新宿駅 西口徒歩 14 分

＜地図＞
https://www.bellesalle.co.jp/wp-content/uploads/access_shinjukug.pdf

3）使用言語　日本語

4）参加費　無料（要事前申込）

5）申込方法

- 以下のURLまたは右のQRコードから参加登録をお願いします。
  https://forms.gle/MxWDsvdx4USzhUkr5
- もしくは本紙末尾のE-mail宛てに、所属団体名、肩書、お名前、連絡先（メールアドレス、電話番号）を明記の上、参加登録をお願いします。

6）申込締切

- 2025年9月8日（月）12:00

※定員に達した場合は申込を締め切る場合がありますので、予めご了承下さい。

2. 主なプログラム（登壇者敬称略） ※予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

開会挨拶 (10:00-10:05)

山縣 然太朗（科学技術イノベーション政策のための科学 プログラム総括）

第１部 プロジェクト研究成果報告 (10:05-11:30)

1) 研究の全体像 林 嶺那（法政大学 法学部 教授）
2) 社会科学グループ成果 林 嶺那（法政大学 法学部 教授）
3) 自然科学グループ成果 西原 健司（東京科学大学 特定教授）
4) 政策実装グループ成果 松尾 雄司（立命館アジア太平洋大学 教授）

昼食・休憩 (11:30-13:00)

第２部 パネル討論 (13:00-14:55)

モデレータ

村上 朋子（日本エネルギー経済研究所 電力ユニット 上級スペシャリスト）

登壇者

鈴木 達治郎（NPO 法人ピースデポ 代表、長崎大学 客員教授）
寿楽 浩太（東京電機大学 工学部・教養教育センター 教授）
山本 章夫（名古屋大学大学院 工学研究科 教授）
城山 英明（東京大学法学部・公共政策大学院・未来ビジョン研究センター 教授）

鈴木 達治郎 客員教授

寿楽 浩太 教授

山本 章夫 教授

城山 英明 教授

閉会挨拶 (14:55-15:00)

林 嶺那（法政大学 法学部 教授）

3. 主催

「専門知の多様性と市民の意思を組み込んだ科学技術政策の形成に向けて」
シンポジウム実行委員会

4. お問い合わせ先

（参加申込・事務的お問い合わせについて）シンポジウム事務局
E-mail：JST_sympo_jimukyoku@tky.ieej.or.jp
（本研究開発プロジェクトおよびシンポジウム内容について）法政大学 林 嶺那 教授
E-mail：reona@hosei.ac.jp